

「人権が尊重されるまち」指標

－大阪市を「人権が尊重されるまち」へ－(令和7年度版)
【指標(冊子)の概要】

・「人権が尊重されるまち」指標(冊子)とは

大阪市が「人権が尊重されるまち」に近づいていると市民に実感していただくため、多様な人権課題に対応する施策や取組みの推移の状況などをとりまとめたもの

掲載している指標のデータ(数値)について

基本指標 (計16指標)

- ・「人権に関心がある」と答えた市民の割合
- ・「大阪市は市民一人ひとりの人権が尊重されているまちである」と思う市民の割合
- ・個別の人権課題に関わって「人権が尊重されている」と思う市民の割合(10課題、14指標)

その他の指標 (計43指標)

- ・大阪市の個別の人権課題(※)ごとに実施している各施策や取組みなどに関連して、測定・把握しているデータをとりとまとめたもの

- ※①女性
- ②子ども
- ③高齢者
- ④障がいのある人
- ⑤同和問題(部落差別)
- ⑥外国人
- ⑦個人情報の保護
- ⑧犯罪被害者等への支援
- ⑨ホームレス
- ⑩LGBTなどの性的マイノリティ

上記の個別課題のほかに、「人権行政の推進」に関する指標も掲載

- 基本指標の測定・表示について(令和7年度から)

測定・表示を次のとおりとします。

令和6年度まで：5年ごとの意識調査(+毎年の民間ネット調査)

令和7年度から：5年ごとの意識調査

(具体例)

- 令和6年度版(前回)

項目	各年度の状況			
「人権に関心がある」と答えた市民の割合	人権問題に関する市民意識調査	平成27年度 65.0%		令和2年度 69.1%
	民間ネット調査	令和4年度 54.8%	令和5年度 58.4%	令和6年度 60.4%



- 令和7年度版(今回)

項目	人権問題に関する市民意識調査	
「人権に関心がある」と答えた市民の割合	平成27年度 65.0%	令和2年度 69.1%